

よしの 再発見!

湖底に沈んだふるさと 津風呂

今から約60年前に完成した津風呂ダムの底には、そこで暮らしていた人々の家や田畠、山林・当時の生活の全てがありました。旧津風呂村出身の片岡市藏さん(大淀町在住)が、先祖を偲ぶとともに後世へ伝えていくことを願い、私費で「津風呂村懐古」の碑を建立しました。

津風呂ダムの建設

1949年(昭和24年)に策定された『十津川・紀の川総合開発事業』の一環として、宮滝付近で吉野川に合流する津風呂川下流に計画された津風呂ダムは、1954年(昭和29年)から建設が開始されました。22万5000m³のコンクリート、延75万人の労力を費やして1961年(昭和36年)に完成しました。

翌年から貯水が開始され、昭和38年に満水となり、貯められた水は、吉野川分水によって大和平野(奈良盆地)に運ばれるようになりました。

ダム建設に伴い、津風呂の50戸、入野21戸、合わせて71戸の住民が立ち退きを余儀なくされました。そのうち20戸は現在の奈良市山陵町へ集団移住し、津風呂町を拓きました。今回、記念碑を建立した片岡さんの一家は飯貝へ転居。その後も片岡さんの心の奥底にあったのは、生まれ故郷の津風呂への想いでした。

さらに今年1月には、この記念碑の傍らに「津風呂湖展望台」の看板と遊歩道も設置。記念碑の裏手にある高台から津風呂湖を見下ろすことができます。

◆展望台・碑のご案内

津風呂湖北岸道路、香束側から約6.5km地点。入野側からは約5.5km地点。

◆参考文献『吉野町史』吉野町史編集委員会、『ふるさと懐古写真集』吉野町文化協会

◆写真提供 片岡市藏氏
問 間役場 総合政策課広報広聴室
TEL (32) 9090



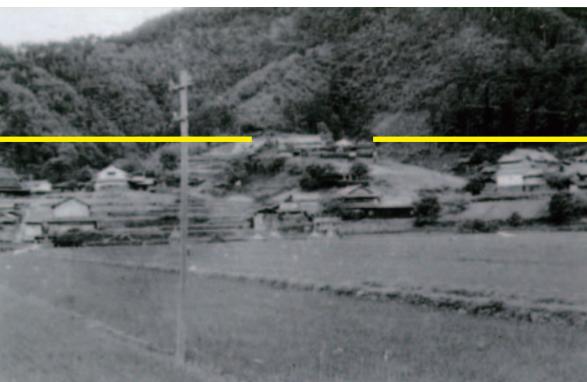
昨年11月26日に行われた記念碑除幕式の記念写真
片岡氏(前列右から2人目)とご家族の皆さん

次世代へ伝えたい想い

片岡さんは平成28年に完成した津風呂湖北岸道路沿い(片岡家のあった場所の裏手の山のふもとに、「津風呂村懐古」と題した記念碑を昨年11月に建立しました。これは、津風呂の歴史とダムとの関わりを記したもので、津風呂湖を見る観光客や地元の若い世代に、ダムと沈んだ村のことを知つてもらいたいとう願いから建てられました。また、津風呂から移転した方々に、ふるさとを懐かしんでもらえればと片岡さんは語ります。



2017/11/26



湖底に沈む前の下津風呂の集落
黄色の線は津風呂湖の水位(中央上部の家が片岡家)

スマイルバスで行くディープな吉野の旅2018 4月 ~湖に沈んだ津風呂村をゆく~

もともとの津風呂村は茶畠や段々畠が広がるのどかで美しい村でした。きっと「吉野で最も美しい村」だったことでしょう。この津風呂村が湖の底に沈みました。

当日は矢治から峠を越えて湖畔まで歩き、遊覧船に乗って湖に沈んだ津風呂村に思いを馳せます。

- ◆日時 4月21日(土)
- ◆費用 2,500円(ガイド・食事代・遊覧船費用・保険代含む)
- ◆集合 大和上市駅 9時20分
- ◆行程 上市駅→下矢治…矢治峠…津風呂湖(遊覧船乗船)→木ノ子広場…山口研修会館…山口→上市駅(注:上記記念碑の設置場所には行きません)
- ◆定員 20名 ※先着順(広報掲載時点での定員になっている場合がございます。あらかじめご了承ください。)
- ◆応募 吉野スタイルHPまたは下記までご連絡ください。

問 吉野スタイル TEL(34) 2533

役場 総合政策課 TEL(32) 3081

今年から変わりました 鬼 フェス in 吉野山

吉野山金峯山寺の節分会に合わせて吉野山観光協会が実施してきた鬼火の祭典キャンペーンの内容が今年から一新され、名前も「鬼フェス in 吉野山」と変えて開催されました。1月中旬から始まったこのイベントは、鬼が各旅館等を回り、子どもの宿泊している部屋を訪れたり、飲食店等で歌手などのアーティストにより、週末にミニライブが行われるなど、趣向を凝らして実施されました。また、各飲食店が「鬼バル」と題してお得な限定メニューを考案し、チケットを買った観光客などに提供しました。

節分前日の2日の夜には、鬼歩きが行われ、吉野山の通りを歩く鬼の姿に、子どもたちは歓声を上げていました。



2月11日 初 市に合わせてイベント開催

毎年恒例の上市の初市。2月11日、蛭子神社では福籠・飾り熊手の販売、餅つきや甘酒のふるまいなどが行われました。また、吉野町中央公民館では「初市ほっこりライブ」と題して人形劇や絵本の読み聞かせなどが行われ、夕方からは落語家の桂きん枝さんなどが出演する落語寄席も行われました。ゲストハウス三奇楼では、1品500円の料理やお酒などを楽しめる「三奇楼バル」が開催。旧ヨシト横の「木育工房esora」では木や森など自然に関する本を集めた木育カフェライブラリーが開かれ、本を読みながらコーヒーを楽しむ事ができました。上市郵便局前の上市スタンドでは、地域おこし協力隊や移住者の活動紹介・出身地の物産販売などが行われ、上市のまちなかが賑わいました。



木育工房esoraで行われた木と和紙のしおり作りの様子

奈良県知事表彰 『自治功労者』



西澤 巧平 氏

皆様のおかげで表彰の栄に浴することができます。ありがとうございます。

今年は明治維新から150年になります。

維新の頃、我国は成文法らしきものもなく、関税自主権も持たず、世界水準からすれば、明らかな後進国でした。

以来、長い坂を登

るように進み、幾多の困難を越え、先進国の一翼を担うようになりました。すなわち、坂道を登り切ったわけです。しかし、そこから先には何があるのでしょうか。私には、下り坂が見えているような気がします。

この状況に私達はどのように立ち向かって行くのか。これからも皆様と共に考えていきたいと思います。

平成29年度 寄附総額 ふるさと納税 1億円突破



吉野町では、平成20年度からふるさと納税制度を開始しており、10年目となる平成29年度には、単年度集計寄附額が1億円(前年度比約20%UP)を超える寄附をいただきました。寄附金は桜の保全や産業振興、教育福祉、町内の自治会・区・町内会の支援に使わせて頂いております。

また吉野町では、制度当初より寄附者の方に謝礼品をお送りしており、今年度は125品以上の葛製品や柿の葉ずし、木工品など吉野町の特産品を、町内登録事業者から直接お届けしています。今後多くの方から吉野町にお力添えいただきたく、町外にお住まいのご親戚やご友人の方々へ吉野町ふるさと納税制度の周知にご協力をお願いいたします。

問役場産業観光振興課 Tel(32)3081